



みなさんと
共に歩んで
700号

北部小学校児童の皆さんが手にしているのは、これまで発行してきた「広報おぐに」。「私たちのお父さんやお母さんが生まれる前から続いてきたんだね」。「広報おぐに」は、これからも町民みなさんと共に未来に向かって前進します。



町民と行政をつないで

700号



広報おぐに創刊号（昭和29年4月）

「広報おぐに」は、今月の発行で700号を迎えました。昭和29年4月の創刊以来、59年間にわたり、行政の動きや町の出来事をお知らせしながら、町民と行政とのつなぎ役として重要な働きを担い続けてきました。今月は、これまでの「広報おぐに」のあゆみを振り返り、改めてその役割を考えます。

町民と町行政を結んで59年

「広報おぐに」は、小国町、南小国村、北小国村が合併した昭和29年に創刊されました。当時の紙面では、町民と役場とを結ぶ理解と融和の「ともづな」として、その使命が記されています。以来、59年間にわたり、原則として月

『広報おぐに』のあゆみ

※1面記事、特集記事を
中心に主な内容を抜粋。

【創刊号】昭和29年4月

「新町小国町の誕生を祝す」
小国町と南小国村・北小国村が合併し、新生小国町が誕生。

【78号】昭和35年8月

「津川村を編入 新小国町誕生」

【105号】昭和37年11月

「小国町の町章きまる」

【108号】昭和38年2月

「実に27年ぶりの大雪 米坂線の不通で10日間孤立」
※38豪雪

【162号】昭和42年9月

「集中豪雨本町を襲う」※
羽越水害の被害状況、行政の対応などを掲載。

【174号】昭和43年11月

「おぐに開発総合センター落成」

【239号】昭和49年

「熊まつりを初公開」

【256号】昭和50年11月

「カメラが追う 改修なった国道113号線」

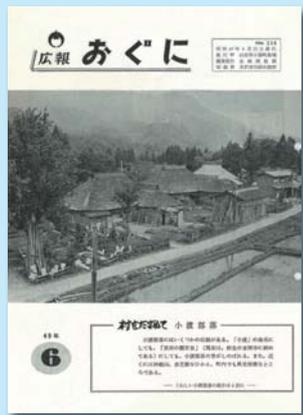
時代の変化にあわせた 規格の変遷

広報の大きさなどの規格は、時代の要請に応じて変更してきました。創刊から185号までは、タブロイド版で発行しましたが、昭和45年1月の186号からB5判にサイズに変更しています。また、表紙の題字についても、昭和54年4月の296号から現在のものを使用してきました。さらに、平成5年1月の459号からは紙面のサイズをA4判に変更し、現在に至っています。

タブロイド判(新聞紙1ページの半分の大きさ)
昭和29年4月～昭和44年12月



B5判サイズ
昭和45年1月～平成4年12月



表紙題字が現在のスタイルになる
昭和54年4月から現在に至る



お知らせ版の発行
昭和58年4月～平成16年3月
※平成16年4月から本号に統合



A4判サイズ
平成5年1月から現在に至る



1回の発行を継続してきました。半世紀以上が経過しても、「町の施策や仕事をわかりやすく、正確に町民の皆さんにお知らせする」その基本的な役割は変わっていません。「広報おぐに」は、町内の全世帯、国、県などの行政機関等に届けているほか、小国町ホームページにも掲載し、多くの皆さんに公開しています。

町民のみなさんの声

平成16年10月発行の600号以降に掲載した町の主要事業や出来事に関する記事を振り返りながら、皆さんが広報紙をどのように感じてきたのか、また、どのような役割を果たしていると考えているのかを聞いてみました。

町づくりの方向性や 課題認識に大きな役割

東部地区振興協議会会長の小野正利さん(叶水)は、次のように話してくれました。「これまでの紙面を振り返ると、横川ダムの完成やパ-

【303号】昭和54年11月

「できたぞ待望の体育館が」

※町民総合体育館竣工

【382号】昭和61年7月

「役場新庁舎が完成しました」

【428号】平成2年6月

「20000人を超える観光客で賑わう」※第1回おぐに石楠花まつりが開催

【457号】平成4年

町制施行50周年記念特集号

【474号】平成6年4月

「待望の新宇津トンネル開通」

【500号】

「広報おぐに500号記念特集」※これまでの広報のあゆみを掲載。

【559号】平成13年5月

「動きだした中高一貫教育」

【585号】平成15年7月

「横川ダム本体いよいよ着工へ」

【597号】平成16年7月

「着実に進む横川ダム建設事業」

【598号】平成16年8月

「平成16年7月17日豪雨災害を振り返る」



小野正利さん

クゴルフ場のオープンなども、身近な情報が数多く掲載されてきました。私も町民の一人として、大きな関心を持って紙面に目を通していました。また、私たちの協議会においても、広報紙から得られる情報を共有し、活動しています。町の動きに町民一人ひとりが関心を持ち、より理解を深めることが大切です。広報紙は、まちづくり、地域づくりの推進に、大きな役割を担っていると思います。」

安心につながる大切な情報源

小学生のお子さんを持つ金敦子さん(小渡)は、広報紙について、次のように話してくれました。

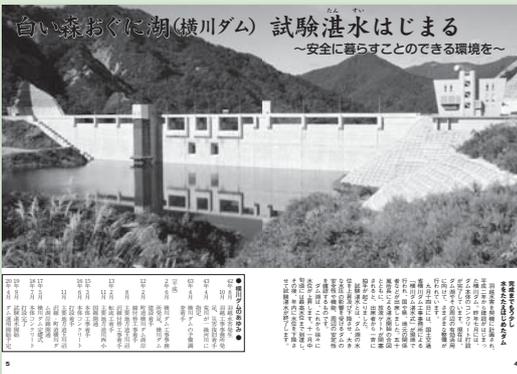
「現在、小学3年生の娘は、沖庭小学校に通学していま



金 敦子さん

す。学校は、平成25年度末で閉校し、小国小学校に統合となるので、特に、学校統合や新しい小国小学校の建設を取り上げた記事には、よく目を通しています。『学校は小国中学校の脇にできて、校舎には小国の木材が使われる。暖房にも自然の恵みが使われるんだよ。』と、家族団らんしながら、子どもに伝えていきます。学校が統合し、教育環境が変わるといことは、子どもにとっても、親にとっても不安があると思いますが、広報紙でしっかり情報を把握することでそれを解消し、安心につながることができると考えます。これからも町民の声を取り入れながら、私たちの身近な情報を、親近感のある紙面で伝えていただきたいと思っています。」

636号 (平成19年10月)



633号 (平成19年7月)



平成19年6月にグラウンドオープンした森林セラピー基地温身平。広報紙面でも、その検証事業や効果、関係者の声を拾ってきました。

- 【600号】平成16年10月
「広報おぐにが600号」
※これまでの広報おぐにのあゆみを掲載。
- 【614号】平成17年12月
「小中高一貫教育5年目の成果」
- 【618号】平成18年4月
「夢に向かって」※閉校となる小玉川中学校、玉川中学校のあゆみを紹介。
- 【622号】平成18年8月
「本町の経済と生活を支える米坂線」※米坂線全線開通70年のあゆみを紹介。
- 【624号】平成18年10月
「森林セラピー基地 白い森の国おぐに」ブナの森温身平」
- 【625号】平成18年11月
「森林セラピーパイロットプロジェクトを実施」
- 【633号】平成19年7月
「森林セラピー基地ブナの森温身平グラウンドオープン」
- 【636号】平成19年10月
「白い森おぐに湖(横川

ふるさとへの情報が満載

関東地方などで暮らしている小国出身者の皆さんにも広報紙を読んでいただいています。山形県小国郷人会会長の伊藤康之さん（河原角出身、八王子市在住）は、次のように話してくれました。

「ふるさと小国の情報は、「広報おぐに」を通じて、毎月、確認しています。インターネットなどのメディアが発達し、個々が多様な情報を容易に受信できる時代ではありますが、広報おぐには、様々な町の取り組みや出来事、人口動態などの情報が分かりやすく伝えられており、ふるさとを思い浮かべながら、いつも楽しみに読んでいます。私たちの会には、田舎を離れて、それぞれの分野で頑張っている人が大勢います。ふるさと



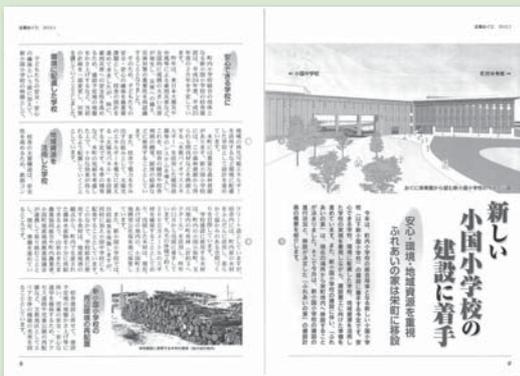
伊藤康之さん

が前進していく姿を知ることが、私たちにとても大きな喜びで、自分自身の励みにもなります。小国町が、地域の特性を活かしたまちづくりを推進され、これからも発展していくことを願っています。今後、「広報おぐに」の期待に期待しています。」

**皆さんにもっと必要とされる
広報紙を目指して**

町民みなさんと情報を共有し、相互理解を深め、まちづくりに生かしていくことが広報紙の大きな役割です。私たちのまわりには、多様な情報媒体がありますが、「広報おぐに」は町民の皆さんにとり、身近な存在として重要な位置を占めているとともに、安心な生活や、意欲的な地域づくり活動などを進めるうえで、貴重な情報源にもなっています。町では、これからも、親しみやすい、分かりやすい紙面づくりに取り組み、ホームページなども活用しながら、効果的な情報の発信に努めていきます。

687号（平成24年1月）



平成26年4月開校予定の新しい小国小学校の校舎のイメージや、各教室の配置、学校統合の動きなどをお知らせしています。

679号（平成23年5月）



未曾有の被害をもたらした東日本大震災。広報では、本町における防災や被災者支援の取り組みなどを、年間シリーズで掲載しました。

- 【639号】平成20年1月
「横川ダム建設による集落移転から15年」湖底のふるさとに思いをこめて」
- 【642号】平成20年4月
「竣工を迎えた横川ダム」、「小玉川小中学校閉校」
- 【666号】平成22年4月
「玉川小中学校閉校」
- 【678号】平成23年4月
「伊佐領小学校閉校」
- 【679号】平成23年5月
「復興に向け深まる絆と広がる支援」※東日本大震災の被災地支援、避難者支援の取り組みを掲載。
- 【687号】平成24年1月
「新しい小国小学校の建設に着手」
- 【690号】平成24年4月
「白沼小中学校閉校」
- 【694号】平成24年8月
「福島県大玉村と災害時相互応援に関する協定を締結」
- 【642号】平成20年4月
「試験湛水はじまる」

インフルエンザ注意報が発令されています

インフルエンザに 注意しましょう

山形県は、1月22日、1月第3週（1月14日から1月20日まで）における県内の一定点医療機関あたりのインフルエンザ患者報告数が21・50人に増加したことから、『インフルエンザ注意報』を発令しました。

インフルエンザは、毎年冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器疾患です。普通のかぜとは異なり、突然の高熱とともに、関節痛や筋肉痛などの全身に症状があらわれるのが特徴です。のどの痛み、鼻水、せきなども伴います。

インフルエンザの感染力は強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人への感染が拡大します。また、保育所や学校、社会福祉施設などでは、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者の場合、集団的に感染が



拡大し、重症者が出る場合もあります。

町民の皆さんには、今後、次のことに気をつけて、感染予防に努めてくださるようお願いいたします。

- ① こまめな手洗いに努めましょう。
- ② 外から帰った後は、うがいをしましょう。
- ③ せきが出るなどの症状がある、混み合った場所などに出かける場合はマスクを着用しましょう。
- ④ こまめな換気をしましょう。
- ⑤ 十分な栄養摂取・休養・睡眠を心がけましょう。

■ 問合せ先 健康福祉課

(☎61-1000) へ

高校生議会を開催します

小国町議会では、未来を担う子どもたちが、日ごろ、疑問に思っていることや希望などを質問形式で発表し、その意見を町政に反映させる目的で高校生議会を開催します。

■ 日時 2月19日(火)
午後1時30分から

■ 場所 役場4階 議場

■ 内容

小国高校生と議員が模擬議会を開催します。その様子はインターネットで中継する予定ですが、ぜひ、傍聴にもおいでください。

■ 問合せ先 議会事務局
(☎62-2448) へ

町立病院に 新たな診療科目開設



4月1日から町立病院内に、現在の電興診療所と同じ診療体制で、内科、眼科、耳鼻科の診療科目を開設する見込みとなりました。

また、歯科については、現在の電興診療所の歯科診療施設を活用し、さらに、同じ診療体制で、町の歯科診療所として運営する見込みです。

詳しいことは、町立病院 (☎61-1111) にお問い合わせください。



シリーズ協力隊通信⑨

小国の「雪」を楽しむ

伊藤 正 俊

水道管も凍る今日この頃、熱燗と白い酒で中から身体を温めるには最高の季節でしょうか。つい先日、東京で8センチの積雪により大混乱というニュースがありました。「たかだか8センチで・・・」というのがここでの当然の反応でしょう。僕の地元の愛知でも8センチ降れば大雪です。わずか一年前までは生まれてからずっとその感覚の中にいたのです。しかし小国は、それを宇宙の果てへと忘れ去るほどの雪の量です。

雪の量にも驚きましたが、除雪の綺麗さにも驚きです。道路や家の周りまで、ビシッと除雪されている様子は小国の自慢でしょう。また、それをほぼ毎日行うというのも、大変な労力を要するものです。私も自分に喝を入れてやらねばなりません。



大変な雪ですが、民宿越後屋さんの巨大かまくらであったり、小玉川の学校で行われる青年会の巨大迷路づくりであったり、邪魔者扱いするだけでなく、それを楽しむという取り組みもあります。また、これだけ雪が降るからこそ山の資源が豊富なんだと思います。まだまだこれから大いに雪を満喫して、春の訪れを待ちたいです。

～町長室便り～
雨二モマケズ④

『小国町』新時代への第一歩

盛田 信明



新しい年が明けました。本町を取り巻く社会経済環境は、一段と厳しさを増してきましたが、このようなきとき、町民が一丸となつてこの難局に立ち向かわなければならぬと考えています。

私は、今年が「小国町再生元年」となるよう、町づくりの先頭に立つて、町職員ともども知恵を絞りきり、体を張つてこの一年を頑張る覚悟と決意をいたしました。町民皆さまの一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

さて、就任以来半年が経過をいたしました。この間、公約に掲げた「スクールバスの部活遠征への活用」や高齢者の通院や買い物足の確保する「町営バス内循環線」の1月7日からの運行開始など、少しずつではありますが、実現することができました。今

後とも、一歩一歩着実に歩みを進めていきたいと思っております。

今年は、小国町が全国的に存在感を高められるよう、特に情報発信機能を強化していきたいと考えています。

これまでも、全国的な経営者の勉強会や大学で、本町の町づくりなどについて講演をさせていただきましたが、今後も、様々な機会をとらえて、小国町の魅力を発信し、人口一万人復活に向けて取り組んでまいります。

寺島実郎氏の「時代先見塾」での講演



専修大学での講演

2月8日(金)～3月15日(金)

町・県民税の申告相談が始まります

平成25年度分の町・県民税申告相談を開催します。
申告期限は3月15日までですので、忘れずに申告してください。

町・県民税の申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「平成25年1月1日現在で、小国町に居住されているかた」です。

- ただし、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。
- 税務署に確定申告書を提出したかた
- 年末調整済みの給与収入のほかに収入がないかた
- ※ 申告書が送付されないかたでも、平成24年中に収入があったかたや年末調整済みの給与以外に所得があったかた、各種所得控除を受けたいかたなどは、申告の必要があります。

平成24年中まった収入がなかったかたは？

申告書右上に「収入なし」、合計所得欄に「0」と表示し氏名欄に押印のうえ提出してください。

- 特に、次のようなかたは忘れずに申告してください。
- 国民健康保険加入者または加入予定者
- 後期高齢者保険加入者及びその世帯主
- 介護保険加入者及びその世帯主
- 国民年金免除申請をお考えのかた
- 所得や税関係の証明書が必要なかた
- ※ 障害年金や遺族年金は町・県民税の算定には含まない

申告に必要なもの

ため、申告する収入、所得金額に記載しないようご注意ください。この収入のみときは収入なしの表示でかまいません。

- ① 申告書及び印鑑
- ② 収入と支出が確認できる書類

- 給与・公的年金収入
平成24年分の源泉徴収票
- 営業・不動産収入
収支内訳書、売り上げや仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など
- 農業収入
収支内訳書、農産物の出荷伝票、仕切書、領収書、借入金利子証明書、新しく購入した農機具などに関する書類、補助金、交付金、保証金等の収入が確認できる書類、取扱い

- 通帳など
- 雑収入・一時所得
支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類
- 譲渡所得
売買契約書や経費の領収書、公共事業による買取の場合は3枚組の収用証明書など
- ③ 所得控除を受ける場合に必要各種証明書や領収書、支払金額を証明する書類など
- ④ 通帳など、申告者本人の口座が確認できる書類

変更点にご注意ください

平成25年度分申告から生命保険料控除については、「一般の生命保険料」と「個人年金保険料」は、平成24年1月1日以後に締結した契約（新契約）と平成23年12月31日以前に締結した契約（旧契約）に区分されます。
生命保険会社から送付される「保険料払込証明書」をご確認ください。

平成25年度分 町・県民税 申告相談受付日程

対象地区は駐在地区名で表示しています

月 日	相談会場	受付時間		対象地区
2月8日(金)	役場大会議室	午前の部	9時～11時	小国町1・2
		午後の部	1時～4時	坂町1・2
2月12日(火)		午前の部	9時～11時	緑町1
		午後の部	1時～4時	緑町2
2月13日(水)		午前の部	9時～11時	駅前1・2
		午後の部	1時～4時	栄町1・2
2月14日(木)		午前の部	9時～11時	本町1・2
		午後の部	1時～4時	幸町2
2月15日(金)		午前の部	9時～11時	本町3、幸町1
		午後の部	1時～4時	上岩井沢
2月18日(月)		午前の部	9時～11時	坂町3・5
		午後の部	1時～4時	地蔵町
2月19日(火)		午前の部	9時～11時	町原
		午後の部	1時～4時	東原
2月20日(水)		午前の部	9時～11時	あけぼの
		午後の部	1時～4時	松岡
2月21日(木)		午前の部	9時～11時	綱木箱口
		午後の部	1時～4時	伊佐領
2月22日(金)		午前の部	9時～11時	旭町、小芦
		午後の部	1時～4時	北、西
2月24日(日)		午前の部	9時～11時	休日相談日
		午後の部	1時～4時	休日相談日
2月25日(月)		午前の部	9時～11時	平林
		午後の部	1時～4時	増岡
2月26日(火)		午前の部	9時～11時	種沢
		午後の部	1時～4時	大滝
2月27日(水)		午前の部	9時～11時	岩井沢1
		午後の部	1時～4時	岩井沢2
2月28日(木)		午前の部	9時～11時	兵庫館1
		午後の部	1時～4時	兵庫館2
3月1日(金)		午前の部	9時～11時	大宮、宮の台
		午後の部	1時～4時	田沢頭
3月4日(月)		午前の部	9時～11時	小渡
		午後の部	1時～4時	館
3月5日(火)		午前の部	9時～11時	尻無沢
		午後の部	1時～4時	舟渡
3月6日(水)	役場大会議室	午前の部	9時～11時	今市
		午後の部	1時～4時	古田
3月7日(木)	梅花皮荘	午前の部	9時30分～11時	小玉川、泉岡
		午後の部	1時～3時30分	長者原、玉川中里
3月8日(金)	玉川高齢者 コミュニティセンター	午前の部	9時30分～11時	玉川、玉川新田
		午後の部	1時～3時30分	中田山崎、片貝
3月11日(月)	水の郷交流館	午前の部	9時30分～11時	上叶水、下叶水
		午後の部	1時～3時30分	新股、河原角、上大石沢、下大石沢
3月12日(火)	越中里公民館	午前の部	9時30分～11時	越長
		午後の部	1時～3時30分	六ヶ字
3月13日(水)	白沼小中学校	午前の部	9時30分～11時	白子沢、桜沢、間瀬、明沢
		午後の部	1時～3時30分	沼沢1・2
3月14日(木)	足中克雪管理 センター	午前の部	9時30分～11時	足水中里、樽口
		午後の部	1時～3時30分	足野水、市野沢、百子沢
3月15日(金)	りふれ	午前の部	9時30分～11時	三ヶ字、石滝
		午後の部	1時～3時30分	五味沢

★申告に関する相談が必要な場合は、できるだけお住まいの地区相談日にお越しくださるようにご協力をお願いします。なお、お住まいの地区相談日にご都合がつかないときは、ほかの地区の相談日にお越しいただいても差し支えありませんが、休日相談日や最終日など日によって混み合う場合もありますのでご了承ください。

町営バス新たな「内循環線」スタート

～町営バス内循環線出発式～



町営バス「内循環線出発式」が、1月7日、町立病院玄関前で行われました。

式では、あいさつに立った盛田信明町長が、「本日より、高齢者の交通手段を確保するための新たな町営バス路線「内循環線」の運行開始にあたり、安全な運行に向けて、皆さまのご理解とご協力をお願いしたい。」と述べました。その後、盛田町長、伊藤重廣小国町議会議長、丹野久小国警察署長、河内昭佐小国町社会福祉協議会長が、テープカットを行い、第1便の出発を見送りました。

火災のない町を願って

～小国町消防出初式～



小国町消防出初式が、1月6日、総合センターで開催されました。

ことし一年の安全な活動を祈願した後、小国町消防団東正明団長が、「団員の皆さんには、本年も安全、確実、迅速な活動をお願いするとともに、防火啓発にも力を入れていただきたい。」と訓示を述べました。このほか、団員らによる防火パレードも行われ、町民皆さんに火災予防を呼びかけました。

年頭の決意新たに

～新春賀詞交歓会～

町商工会と町による実行委員会が主催した「新春賀詞交歓会」が、1月15日、ショッピングセンターアスモで開かれ、町内事業所等から約100人が参加しました。

当日は、和やかな雰囲気の中で交流を深めながら情報交換が行われるとともに、本町のさらなる発展を願い祝杯をあげ、年頭の決意を新たにしました。



昔ながらの小正月行事

～歳頭（サイズ）焼き～



町内各地で、無病息災を祈る小正月の伝統行事「歳頭（サイズ）焼き」が行われました。

1月12日に行われた本町地区の歳頭焼きでは、地域の男の子が大人と一緒に、山上にある「一本松」の下でおこした火をたいまつにつけ、「ヤヘロー」と掛け声をかけながら会場に運び、点火しました。

この地域では、山の神の火を用いる古くからの手法が今も継承されています。

雪国の伝統文化を体験

～第31回つる細工講習会～

第31回つる細工講習会が、1月16日から18日までの3日間、飯豊梅花皮荘で行われ、県内外から43人が参加しました。

講習会で参加者は、つる工芸の会会員の指導のもと、アケビやブドウ、トウなどの素材を用いて、果物カゴや手提げかばんなどの作品づくりに挑戦。参加者からは「この機会に、いろいろな編み方を覚えたい。作ったカゴは、家庭で使ってみよう。」との声が聞かれました。



笑顔キラリ

Smile.22



土屋 裕睦 さん

DATA

- つちや ひろむ
- 年齢/24歳
- 住まい/栄町
- 趣味/サッカー、フットサル

Tsuchiya
Hiromu

消防署小国分署に勤務しています。自分の生まれ育った地域に貢献したいという思いで、地元の消防士になることを志しました。

火災や自然災害は、いつ発生するか分かりません。皆さんの安全、安心を確保していくために、常に何があっても万全な対応ができるよう、日ごろから技術を磨くとともに、体調管理にも気を配っています。また、仕事の傍ら、小国中学校のサッカー部のコーチもしています。サッカーを通して、小国の子ども達の育成にも取り組んでいきたいと考えています。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

《小坂町団地》

3DK 1戸 (2階)

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますのでお問い合わせください。

《小坂町勤労者住宅》

2DK 3戸

(2階・3階)

▽家賃 33,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

《石井沢勤労者住宅》

3DK 3戸

(1階・3階)

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 2月12日(火)

■入居時期 2月下旬以降

■問合せ

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 2戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた(所得制限あり)

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 2月14日(木)

■入居時期 3月下旬

■問合せ 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所

(☎0238-2412332)へ

健康管理センター

展示作品募集

高齢者等の生きがいづくりをより活発にするために、展示作品を広く一般のかたから募集します。

■展示期間

平成25年4月8日(月)～

平成26年3月28日(金)

この期間のうちで1～2週間程展示します。

■展示場所 健康管理センター1入口ロビー

■申込期間 2月4日(月)から

2月22日(金)まで

町内の空間放射線量をお知らせします。

～いずれの場所の数値も
人体に対して影響のない水準です～

■1月28日(月)の空間放射線量

測定場所	測定値(μSv/h)
北部小中学校 グラウンド	0.03
沖庭小学校 グラウンド	0.07
旧小玉川小中学校 グラウンド	0.06
旧玉川小中学校 グラウンド	0.07
小国小学校 グラウンド	0.03
小国中学校 グラウンド	0.04
叶水小中学校 グラウンド	0.02
旧伊佐領小学校 グラウンド	0.08
旧白沼小中学校 グラウンド	0.07

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合せ 町民税務課町民生活担当へ

ご案内

置賜原木きのこ栽培研修会

置賜総合支庁では、初心者でも簡単に始められ、また、年間を通して安定した収穫量を確保できる原木きのこの栽培技術研修会を開催します。

■日時 3月12日(火)

午後1時30分～午後4時

■募集作品 書道、絵画、陶芸、写真、合同でつくった大きな作品など

■申込・問合せ 健康福祉課へ

■場所 置賜総合支庁 2階講堂

■内容

①置賜地域のきのこ生産動向等について、②原木きのこの栽培技術について、原木なめこ植菌実習

■参加費 無料

■定員 50名

■その他 原木なめこの植菌体験も行いますので、汚れてもいい服装で参加ください。

■申込期限 3月8日(金)

■申込・問合せ 置賜総合支庁森林整備課普及担当(☎0238-2616063)へ

認知症のことで 悩んでいませんか？

山形県高齢者総合相談センターでは、認知症専門の相談窓口を設置しています。一人で悩まず、何でも、お気軽にご相談ください。

- 相談日 毎週火曜・金曜(祝日除く)
13:30~16:00
- 相談方法 電話・来所
- 相談電話 ☎023-622-6511
- 相談員 精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士、認知症の人と家族の会会員
- その他 相談は無料で、秘密は厳守します。匿名での相談もお受けいたします。

無料税務相談

東北税理士会長井支部では、次のとおり無料税務相談を実施します。相談時間は、午前10時から午後3時までです。相談を希望するかたは、事前にご連絡のうえご利用ください。

■相談日程

期 日	担当税理士	会場及び連絡先
2月12日(火)	須 貝 周 一	長井市☎84-2502
2月13日(水)	金 田 和 夫 長 澤 修 司	長井市☎88-9159
2月14日(木)	長 沼 安 義	飯豊町☎72-2400
	海老澤 信 夫	長井市☎88-5858
2月15日(金)	土 屋 正 昭	白鷹町☎85-0326
	海老名 信 乃	白鷹町☎85-4548
2月22日(金)	全 会 員	各事務所

総合センター図書室から

- ~新着図書~ . . . 休館日 . . . 毎週月曜日・祝日
- ◇ぶり返す世界恐慌と軍事衝突 副島隆史
 - ◇母性 湊かなえ
 - ◇惑いの森 中村文則
 - ◇七つの会議 池井戸潤
 - ◇93歳・現役漫画家。病気だらけを
いっそ楽しむ50の長寿法 やなせたかし

相 談

年金相談

- 日 時 2月20日(水)
10:30~14:00
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先
町民税務課住民窓口担当へ

人権相談

- 日 時 2月20日(水)
10:00~12:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

消費者相談

- 日 時 2月23日(土)
10:00~15:00
- 場 所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先
町民税務課町民生活担当へ

行政相談

- 日 時 3月2日(土)
10:00~12:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
- 申込・問合せ先
町民税務課町民生活担当へ

生活なんでも相談ダイヤル

- 期 間 2月22日(金)~2月24日(日)
- 時 間 10:00~17:00
- 相談電話(無料)
0120-39-6029
- 相談内容
法律問題、多重債務問題、労働問題
就労相談、家庭問題など、生活に関する悩み事や困り事。
- 問合せ先 生活あんしんネット山形
(山形県労働者福祉協議会☎0120-39-6029) へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 農林振興室 ☎62-2408
- 建設技術室 ☎62-2432
- 政策企画室 ☎62-2264
- 税政管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 議会事務局 ☎62-2448
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室・水道管理室 ☎62-2431

黒沢峠トレッキングと かんじき作りのご案内

雪国の知恵「かんじき」作り

- 日時 2月17日(日)
9:30~16:30
- 場所 総合センター
- 対象 親子、一般のかた 定員20人
- 参加費 3,000円
(材料・お弁当代、保険料等)
- 申込期限 2月13日(水)
- その他
昼食は主催側で準備します。詳しいことはお問い合わせください。

黒沢峠・スノートレッキング

冬の黒沢峠を黒沢峠保存会のガイドで散策します。

- 日時 2月23日(土)
9:30~16:00
- 集合場所 総合センター駐車場
- 対象 親子、一般のかた定員20人
- 参加費 1,000円(資料代、保険料等)
- 申込期限 2月20日(水)
- その他
かんじきが無いかたにはお貸しします。詳しいことはお問い合わせください。
- ◆申込・問合先 NPO法人ここ掘れ和ん話
ん探検隊 (☎050-7507-5955)

放送大学4月入学生募集

放送大学はBSデジタル放送をとおして学ぶ通信制大学です。1科目からでも学ぶことができ、入学試験はありません。詳細は問合先にお尋ねください。

- 出願期限 2月28日(木)
- 問合先 放送大学山形学習センター
(☎023-646-8836)へ

**事業主のみなさん、
あなたの会社には『希望者
全員が65歳まで働くことが
できる制度』がありますか？**

平成25年4月から、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正されます。

事業主には、①~③のいずれかの対応が求められます。

- ①65歳以上への定年の引き上げ
- ②希望者全員を65歳まで継続して雇用する制度の導入
- ③定年制度の廃止

改正の内容、経過措置等、詳細については、下記にお問い合わせください。

- 問合先
ハローワーク長井 (☎84-8609)へ

税務署からのお知らせ

インターネットで確定申告

申告書の作成は国税庁ホームページの確定申告書等作成コーナーをご利用ください。平成24年分の確定申告は、

- 所得税
平成25年2月18日(月)~3月15日(金)
- 贈与税
平成25年2月1日(金)~3月15日(金)
- 消費税及び地方消費税(個人事業者)
平成25年1月4日(金)~4月1日(月)

- 問合先
e-Tax・作成コーナーヘルプデスク
(☎0570-015901)
長井税務署 (☎84-1810)へ

シリーズ 健康道場

その十 腰痛予防トレーニング②

前回、年齢を問わず、誰でも悩まされる可能性があるのが「腰痛」と紹介しました。椎間板ヘルニアやぎっくり腰などは、30~40歳代の方が多く発症します。「私は大丈夫!」と思っけていても、ちょっとしたことで腰を痛めてしまうことがありますし、過去の症状が再発することも考えられます。そのために、予防に取り組みましょう。

- 1 おなか、腰まわりの筋肉を鍛える (腹筋・背筋)
- 2 骨盤まわりの筋肉を柔らかく (ストレッチ)
- 3 足の付け根の筋肉を落とさない (足を上げる)
- 4 背中や脇の下のストレッチを習慣にする (背伸び) など自分に合った方法を継続して行ってください。

Yui オススメエクササイズのポイント

おなか、背中の筋肉強化



- ① 腹ばいになり、肩の下に肘を位置し、つま先を立てた姿勢にします。
- ② 頭から足まで一直線に保ち、30秒程度姿勢を維持します。
- ③ 慣れないうちは、足幅を広目にして行いましょう。
- ④ 1日、数セット行います。

骨盤まわりのストレッチ

- ① 肩幅に足を広げます。
- ② 頭の場所(位置)を変えず、フラフープの内側をなぞるように腰をまわします。
- ③ 呼吸に合わせてゆっくり行いましょう。左右10回程度まわします。
- ④ 1日、数セット行います。



※お問合せ先 **おぐにYui** スポーツクラブ ☎62-5808

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

杉 沢 高 橋 ^{みらい}未 蕾 (悦 人 子
由 紀 子)
小 国 町 今 野 ^{るき}琉 希 (克 美 子
温 子)
兵 庫 館 平 田 ^{とわ}永 遠 (圭 太 子
か お り)

結婚おめでとうございます。

(貝 少 木 村 康 徳 子
白 鷹 町 今 間 法 子
(西 照 井 達 也 美
栃 木 県 佐 々 木 夏 美

おくやみ申し上げます。

新 屋 敷 和 田 七 右 衛 門 (93)
新 股 渡 部 吉 雄 (81)
兵 庫 館 渡 邊 清 三 (81)
小 股 伊 藤 熊 彦 (70)
兵 庫 館 上 田 悟 (73)
小 国 町 木 村 和 (85)
増 岡 佐 藤 圭 子 (77)
岩 井 沢 砥 石 二 雄 (88)

人口のうごき

人口 男・・・4,241人 (-8)
女・・・4,485人 (±0)
計・・・8,726人 (-8)
世帯数 3,229世帯 (-3)
平成24年12月31日現在

編集後記

今回の「広報おぐに」は、創刊700号を記念して、全ページカラー版でのお届けとなりました。創刊号から現在に至るまで、多くの町民の皆さんのご理解、ご協力のもと発行し続けてきました。改めて振り返ってみると、「広報おぐに」は、町民みなさんで作ってきたと言っても過言ではないと思います。これからも、まちづくりの施策をはじめ、まちの魅力や頑張っている人、グループなど多くの町民の皆さんを紹介しながら、紙面づくりに取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いたします。

(加藤)